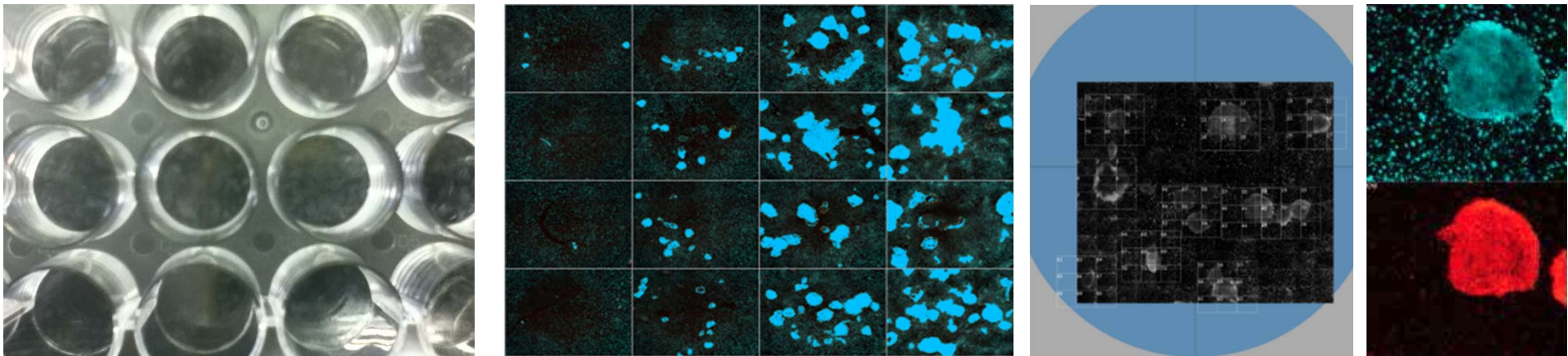
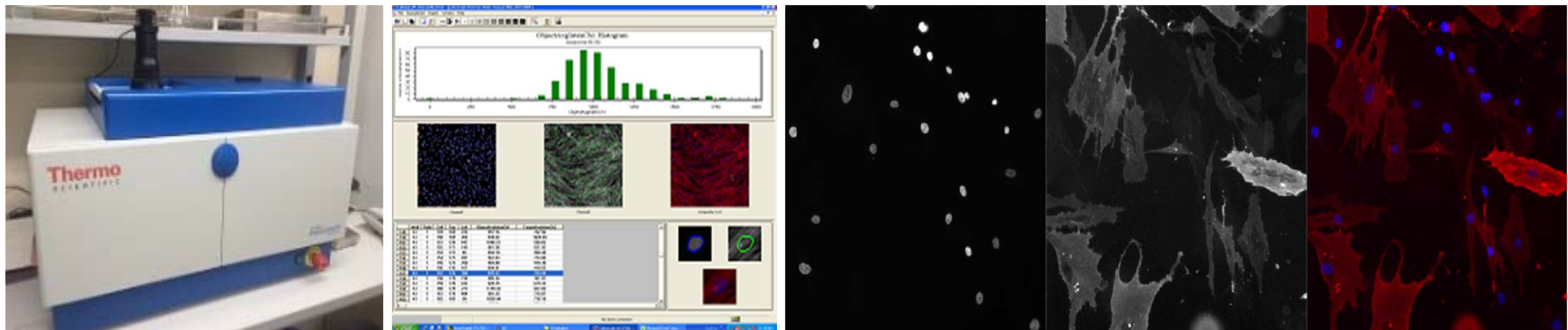


研究内容

細胞加工製品の品質管理法は、細胞解析技術の進歩により、従来の定性的評価から、定量的かつ網羅的評価に基づく手法へと進化しています。



iPS細胞加工製品の品質管理手法の開発に取り組んでいます。写真は、ヒトiPS細胞の培養による経日変化の測定例。



動物間葉系幹細胞加工製品の品質管理に応用可能な、動物用のマーカー抗体の開発に取り組んでいます。写真は間葉系幹細胞を、マーカー染色し、細胞解析装置を用いて解析している例。